

キリスト教活動 クラブ活動案内

青山学院で過ごす日々が素晴らしいものとなることを期待して、各部のクラブ活動の一部をご紹介します。

聖歌隊

大学聖歌隊は、水曜日と土曜日の週2日、16:40～19:40に青山キャンパスで練習を行っています。大学礼拝で讃美歌を歌うほか、定期演奏会・クリスマス奉唱会ではクラシック曲にチャレンジし、演奏旅行や合宿も行っています。演奏の様子はYouTubeをご覧ください。性別や学年、合唱経験の有無にかかわらず、新入隊員を募集中です。キリスト教に触れたことのない方も心配ありません！少しでも興味のある方は4月の新入生歓迎イベントや公開練習にお越しください。質問や相談はSNSのDMでお待ちしています。



ハンドベルクワイア

ハンドベルクワイアは一人ずつ音を担当して全員で一つの曲を演奏するその特性からチームワークが大切です。そのため学年関係なくとても仲が良いのが特徴です！曲を作り上げる過程の楽しさや、本番で味わえる達成感が仲間と一緒に演奏することで何倍も大きくなるのが魅力です！ 昨年は礼拝、コンサート、学祭などで沢山演奏しました！SNSで詳しい魅力を発信していますのでぜひチェックしてください！初心者の方でも簡単に演奏ができます！体験練習でお待ちしています！





青山キリスト教学生会 (Aoyama Christian Fellowship)

青山キリスト教学生会 (ACF) は、青山学院大学公認のキリスト教学生団体です。約100名のメンバーが所属しています。メンバーの中には、青学に来て初めてキリスト教に触れたという人もいます。定期活動では、聖書を読んで思いを共有したり、祈り合ったり、賛美をしています。その他にも宿泊や学祭でのコンサートや教室出展、クリスマス祝会など楽しいイベントも沢山あります！ 皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



ゴスペル・クワイア

新入生の皆さんご入学おめでとうございます！ ゴスペル・クワイアは、週2回ガウチャー記念礼拝堂などで活動しています。ゴスペルは、神様に賛美を届ける宗教音楽で、様々な曲調を全身でノリながら楽しく歌うところが魅力です。イベントも盛りだくさんで、メンバー同士とても

仲が良いです。歌が好きなお人、ここでしかできない経験をした人、誰でも男女共に大歓迎！活動の詳細はインスタグラムなど公式 SNS をご覧下さい。



ABF (Aoyama Bible Fellowship)

3年 北原 大樹

私は高等部から青山学院に入学しました。それまでは普通の地元の公立学校に通っており、私自身や両親がクリスチャンというわけでもありません。16年間宗教に触れてこなかった私がどうして ABF で聖書に関わりを持つようになったのかといいますと、きっかけは中学の頃にあります。私は社会科の科目が好きで、その中でキリスト教とユダヤ教とイスラム教は同じ神を信仰する「アブラハムの宗教」だということを知りました。聖書は世界の半分近くの間人が読んでいるというのに自分がそれについて知らないのは良くないのではと思います、この部活の存在を知った時、今の私に必要な部活だと確信しました。

聖書を学ぶと社会の見え方が大きく変わります。中でも道德基準はキリスト教を信じるかどうかに関係なく学ぶ価値があります。たとえば日本では母親が子供をしつけるときは「迷惑をかけるからしてはいけない」というように教育していますが、聖書の中では律法やイエスの言葉を道德の基準書にします。つまり「聖書に書いてあるからやってはいけない」ということです。この違いは実際に社会での思想の食い違いが生まれる原因だと思えます。大多数の日本人が気にしないことでも、クリスチャンからしたら重大なこともあります。これはとても興味深い話ですし、聖書を理解する上でお互いが歩み寄れるきっかけになると思えます。



聖歌隊

3年 時田 結衣

中等部の聖歌隊は、クリスマス礼拝やイースター礼拝などの大きな礼拝の際に讃美歌を歌い、神の愛や栄光を讃えています。練習を重ねることで、四声が少しずつまとまっていく喜びを感じる事が出来ます。心を込めて歌う私達聖歌隊の讃美歌が、よりよい礼拝へのご奉仕となり神様や皆さんの心に響くことを願い活動しています。

緑信会

3年 マッキンタイア 莉杏

緑信会とはボランティア精神を持っている生徒が活動している会です。緑信会では、自分たちには何が出来るか考えて活動しています。去年は古切手の収集や募金活動、そして中等部内の緑を増やすために野菜の栽培を行いました。今年も緑信会はまわりの人のために頑張っていきたいと思っています。

ハンドベル部

3年 藤山 莉緒

中等部ハンドベル部は、今年度から活動の場も増え、収録していたものが生演奏へと戻りました。「友達、友情、繋がり」を大切に、礼拝でのハンドベル賛美、オール青山、中等部祭、点火祭、クリスマス礼拝などで演奏しました。ハンドベルは、みんなで助け合い、励まし合い、お互いの音を聞くことによって良いハーモニーを奏でることが出来ます。良い演奏で喜びの「輪」が平和の「和」へと広がりますように。



左から時田、マッキンタイア、藤山

聖歌隊

6年 掛川 凜太郎

ぼくたち聖歌隊は、毎日の礼拝やイースター礼拝、点火祭、クリスマス讚美礼拝など大切な礼拝で讚美歌を歌ってご奉仕をしています。讚美歌には難しい言葉もありますが、神さまへの感謝を歌で伝えられることがとても素敵だと思います。学年が上がるにつれて、今まで分からなかった讚美歌の歌詞の意味が分かるようになった時に、自分の成長を感じることもあります。

ぼくが聖歌隊の活動の中で一番見てもらいたいのは、クリスマス讚美礼拝です。真っ暗な青学講堂が聖歌隊の持つろうそくの光で照らされ、イエス様の降誕の物語が聖歌隊の讚美する歌と共に進められます。点火祭後の約1ヶ月間は、毎日クリスマス礼拝のために練習します。大変ですがぼくはこのクリスマスの準備期間が大好きです。1年生のみなさんにもぜひ、讚美歌を歌ってほしいと思います。



ハンドベルクワイア

6年 吉田 悠莉



私たちハンドベルクワイアは、週2回の通常練習に加え、礼拝のご奉仕やクリスマス讚美礼拝、点火祭での演奏など多くの活動の場があります。ハンドベルという楽器は一人では演奏できないとても素敵な楽器だと、担当の小澤先生はよくおっしゃっています。皆の力を合わせることで曲を完成させることができる素敵な楽器です。ですので、1曲完成させるためには皆で何度も何度も練習します。

私は4年生からハンドベルクワイアに入っていますが、1年間の活動の中で礼拝のご奉仕と点火祭が特に好きです。礼拝では今まで練習してきたきれいな曲を神さまにお捧げすることができ、良い1日が始まりそうな気がするからです。点火祭では暗くとても寒い中、演奏をします。そんな夜空に響き渡るベルの音はいつもとは少し違った音に聞こえ、暗闇を照らす光のような存在になれている気がするからです。

ハンドベルクワイアは、仲間との絆が深まるとも素敵なクラブだと私は思います。ハンドベルという楽器に出会えて本当に良かったです。